

< 参考資料 >

平成24年7月12日

東京電力株式会社

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋地下階 トーラス室内調査の結果について



東京電力

調査概要

■ 目的

格納容器からの漏水箇所の調査・止水対策および原子炉建屋からタービン建屋への漏水箇所の調査・止水対策を計画しており、トラス室内の現状把握を実施することが重要となる。そこで、高線量が予想されるトラス室内をロボットにより可能な範囲で調査し、今後の計画立案に資することを目的とする。

■ 実施内容

3号機原子炉建屋地下トラス室内において以下を実施。

- 目視確認（画像・動画取得）
- 線量率測定
- トラス室内の音響の採取

サーベイランナーの有線通信が遮断したため途中で調査を中止したものの、目視確認及び線量率測定についてはほぼ計画通り実施した。
なおサーベイランナーはトラス室内にあるため音響装置は回収できていない。

■ 使用機器

遠隔操作ロボット サーベイランナー 1台

■ 現場体制

当社社員 11名

■ 作業時間

7月11日（水）

11:03 サーベイランナーR / B入域

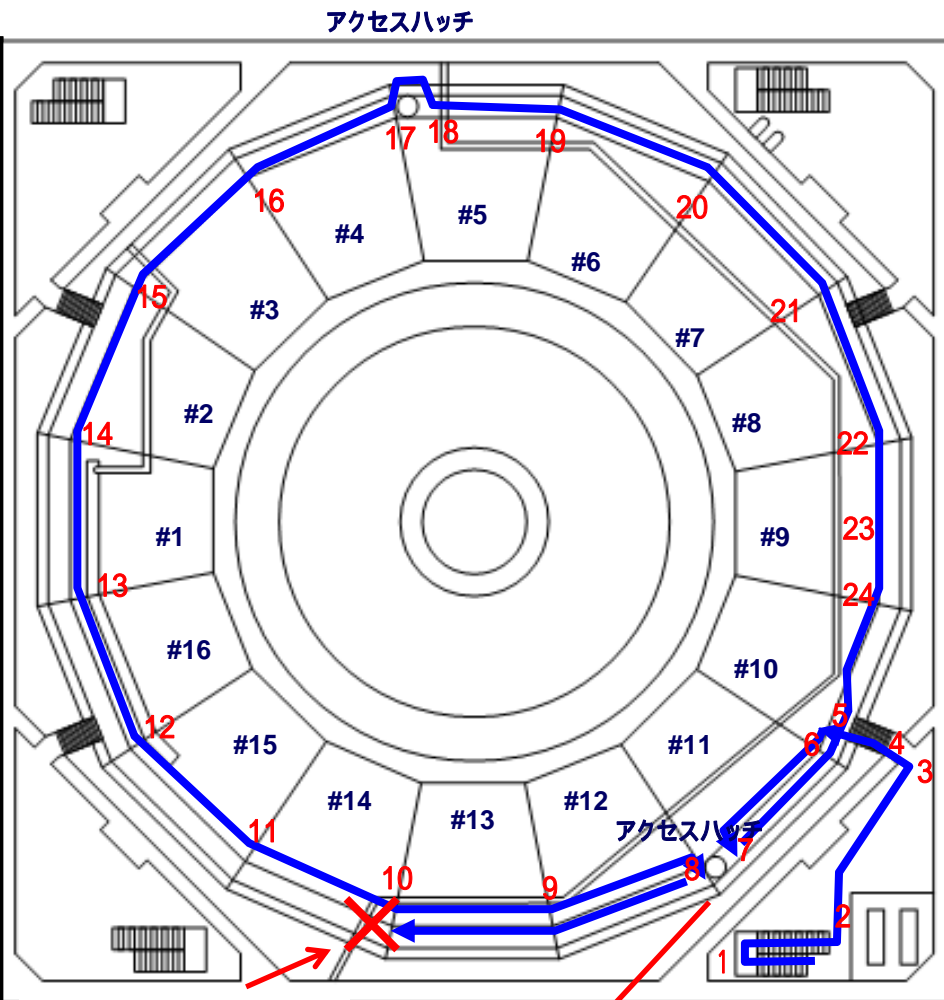
14:09 サーベイランナー有線通信遮断

■ 被ばく線量

計画線量[mSv]	最大被ばく線量[mSv]	人数	役割
2	0.58	5	ロボット操作・準備，T/B内ロボット運搬
8	5.32	6	三角コーナーロボット運搬，扉の開放

調査結果（線量率）

測定点	線量率 [mSv/h]	備考	測定点	線量率 [mSv/h]	備考
1	4		16	186	
2	18		17	234	
3	46		18	360	アクセス ハッチ脇
4	100		19	169	
5	190		20	158	
6	173		21	164	
7	154	アクセス ハッチ脇	22	186	
8	125		23	240	
9	176		24	193	
10	230				
11	192				
12	158				
13	176				
14	180				
15	179				

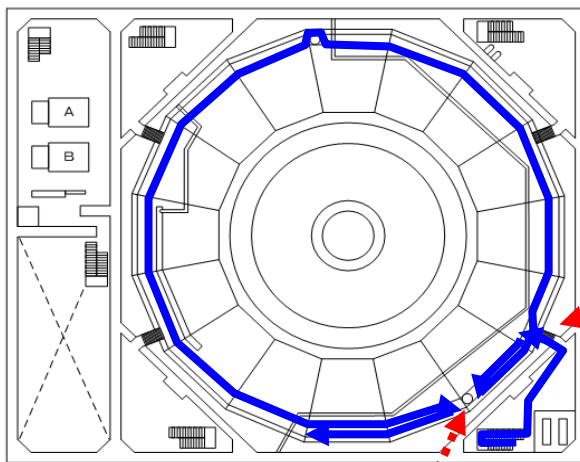


サーベイランナー
有線通信遮断箇所

狭隘部のためアクセス
ハッチ脇通過できず

調査結果（画像） 1 / 2

3号機R/B BFL



トラス室入口



南東マンホール

調査結果（画像） 2 / 2

3号機R/B BFL



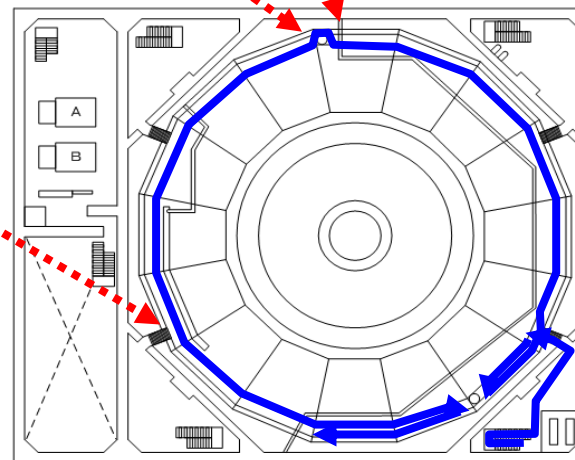
北側マンホール



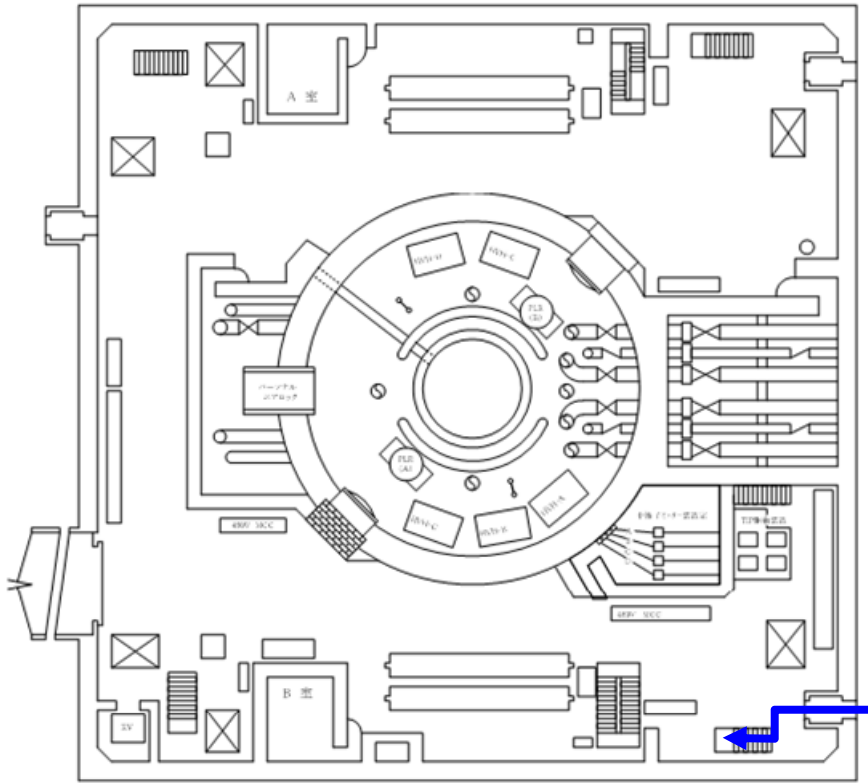
P C V側状況



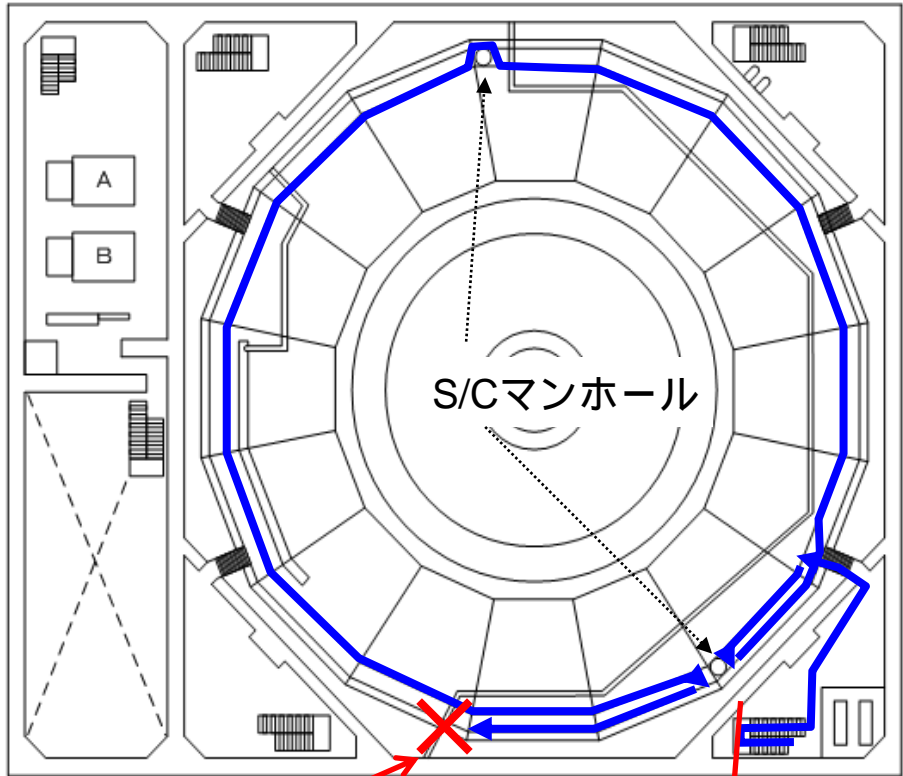
南西階段前



ロボットアクセスルート



R/B 1階



サーベイランナー
有線通信遮断箇所

R/B地1

狭隘部のためアクセス
ハッチ協通過できず

アクセスルート